

と歌つて此の無束縛の旅人の死を悲しんだ。

自由の何物たるを味ふ是れ眞の旅行である。古今未曾有の獨舞臺に立ち詩の世界に彷徨する是れほんとうの散策である。俗塵を離れよ。現實世界を忘れよ。

歎けとて月やは物を思はするかこち顔

なる我が涙かな

道路に關することを

池 本 泰 兒

と歌つたとき月は西行にとつて悲しい戀人である、姉妹である。白雲の様に霞む春の櫻が眷々綿々たる戀愛の婦人となつて吾人の足をとどめしめ、或は又秋葉のうつろい易い其の琴線に少しでも日常の吾々を觸れしめ得べき國立公園道路の完成を飽くまでも翹望して已まないのは實に此の所以に外ならないのである。(四月二十四日稿)

街 路 掃 除

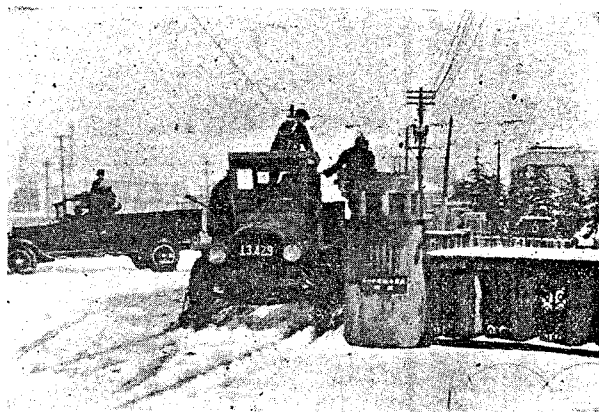
東京市は其の主要道路は殆んど舗装された。東京市の道路延長は一、三六六、〇〇〇米、其の面積は、一四、五五八、〇〇〇平米あるうちで舗装の出來たものが昭和六年三月調では八、〇九六、〇〇〇平米で總面積の五六%になつて居ると云ふ。舗装しなくてもいい様な露路を除くと現在

既に八〇%の舗装が完成してゐると云はれてゐる。

今東京市を歩いて見ても殆んど舗装し盡されてゐる様な氣がする。さすがに帝都だと思ふ。次第に舗装が完了されて來ると次には其の維持修繕と掃除とが重要な仕事になつて來る。實際東京市の街路は何時も美しく掃除されてゐる。廣告ビラ、紙屑、街路樹の葉などおびただしい量であらうにそれが全くよく掃除されてゐる。町を歩いて見て

も歩道や街渠のあたりを掃除してゐるカーキ色のユニホームを着た四五人には必ず出會ふ。

除雪にしても、なか／＼良く秩序だつて用意されてゐる。東京地方で降ることの豫想される程度の雪だつたらもう午前十時頃までには、すつかり除雪されてしまふ。其の一度の除雪費に二三萬圓を消費してしまふのだから、置いとけば消えてしまふものにそんな大金をかけておしい様な氣もするのだが矢張必要なことだ。昨年二月に大阪市に行つた時に丁度二十年振りとか云ふ大雪に會つた。積雪は二〇纏位だつたと思ふ。其の前夜寶塚ホテルに宿まつて、美しい雪景色だと思ひながら大阪の梅田驛に降りたら、あの前の通りがどうして歩車道境界石の處まで、眞黒な古綿の様な水混



東京神田橋より河に雪を放棄する状

りの雪が一杯だつた。歩道も歩けたものでなかつた。靴でも下駄でもくるぶしまで潰かつた。そして少しも除雪をやつてゐない。市内に入つて行つても何

處でも同じことだつた。圓タクは夫れでも其の濁つた雪水のなかを浮く様にしてしきりに走つて居たが、あの時には、つく／＼除雪の用意のないのをどうしたことかと思つた。二日後に更に大阪に寄つたのだが、未だ沿道の人が積み上げた雪が町中一杯だつた。二十年に一度の大雪に除雪の用意のなかつたことに於て、かれこれ云ふ譯けでもないのだが、私としては、除雪の必要を熟々と覺えさせられた。

路面撒水に於ても舗装されなかつた頃には、箱車に水を入れて人が牽いて撒水してゐたもの

だ。此の頃はもうあの様な撒水を見ることも少なくなつたがあの風情は私は好きなものゝ一つだつた。舗装せられた處は撒水しても直ぐ乾いて其の効果がなく、又其の必要もないから、大體やめた様だ。又舗装がぼつ／＼出来た頃には圓筒型のブラツシで撒水したあとを掃除してゐたが、あれでは簡易舗装などは壞はされるので、次第に用ひられなくなつて來た。又舗装箇所が多くなつて泥土を舗装路面に持つて來ることが少なくなつて來たので、道路掃除は、大體塵と云ふ様なものを除けばいゝ様になつたから、此の頃は洗い流すと云ふ様なやり方をとつてゐる。撒水自動車で壓力のある水を噴出せしめて路面を水洗ひする様になつてゐる。水の壓力は四〇磅乃至二〇磅位であるが、其の噴水の狀況など寧ろ壯觀だ。壯觀である程に、水のしぶきが人家に入り、通行者の邪魔になるので、自動車に水除けの圍ひをつくつたりしてゐるが歩道のない處及び幅員の十米以下の街路には夫れでも少し無理なので主に夜間やつてゐる。又街渠の掃除も又水で押し流す方法をとつてゐる。

私は東京市に居て、其の街路掃除を爲す制度を全く知らなかつたが、ほんのこの間、機會があつて其の撒水事務所の一つを見に行つたのだが、どうしてなか／＼組織的にやつてゐる。東京市を二つに分けて二ヶ所の事務所で撒水掃除を受け持つて居るさうだが一ヶ所の受け持ち延長は一五〇軒位ださうだ。撒水自動車を四、五拾臺も持つて居る。繁華な地區は主として夜間掃除するとか聞いた。さうでないと言道や通行者に迷惑をかけるからである。そして平均一日に一回はやつてゐるがそれでも交通の多い處は晝夜二回位、交通の閑散な處は二日に一度位になるさうだ。自動車の速度は晝間毎時八哩、夜間一三哩にしてゐるとのことである。

こんな掃除の方法も砂利道の砂利撒布のやり方と似た様なものだから面白いものだと思つた。

主任にお會ひして各種類の自動車の優劣だとか、撒水の方法だとか伺つたが、とても熱心に帝都の美化に努力せられてゐる様子はお會ひしただけで愉快だつた。四、五拾臺の

自動車を自由自在につかつて居られることも羨ましいと思つた。銀色に塗つた大型の自動車だ。

歩道の占用

東京の人通りの多い街路に於ける歩道を占用してゐるものを擧ぐれば、街燈、水呑栓、街路樹、電車用電柱、郵便箱、一般電柱、水道共同栓、交番、消火線、軌道用變壓機、電力のスイッチ箱、共同便所、電車信號塔、公衆電話、掲示板、地下鐵道出入口、及び其の空氣抜、ガソリンのサービスステーション等がある。其の他に可動的のものには、塵屑箱、交通標識、廣告塔及び廣告柱がある。

このうちで街燈、水呑栓、街路樹及び交通標識、屑箱等は當然街路の附屬物で寧ろ街路其のもの

のであると云ふことも出来る。夫れ以外の占用物は實際街路には、よけいなものだ。即ち街路に於て、街燈と街路樹だけ



(るえ見に後の箱話電)箱壓變、話電衆公、番交の上道歩

けで其の他の占用物のない様な處は日本では想像するしか仕方がない程其んな場所は少ない。東京では短い區間であるが八重洲通り、九段の坂、清洲通り等が地下埋設物用の共同溝を造つたので電柱等がない。若し長い區間のそんな場所があれば氣持のいいものに違ひない。

電車用の電柱と信號塔とは、路面電車が許される限り路面電車の附屬物だから我づ我慢しなければならぬものであらうが、あれとても街路に網を張つた様な感じでない。又軌道用電力の變壓箱とスでない。又軌道用電力の變壓箱とス

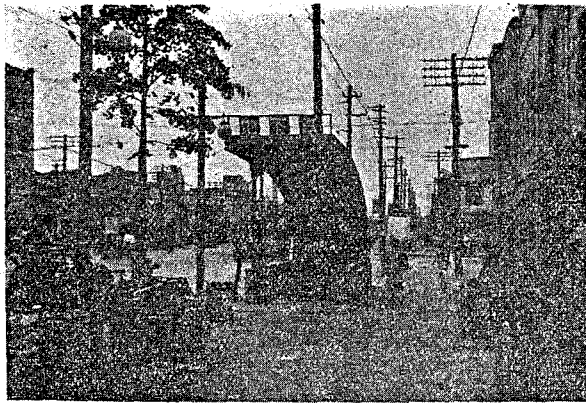
イツチ箱とは歩道に置かなければならぬのか知ら。濕

氣を嫌ふもので地下には置けないものだとは云ふけれど、あの大きさのものを歩道に置くことは考へものだ。消火線は元地下に入れたあつたが、夫れでは他處の消防所が来て直ぐ解らないのでどうしても路上式のものにしなければならぬと云はれてゐる。特に雪國では雪に埋まるから一層必要であらう。

郵便箱と、消火線と、公衆電話と交番とは大體戸外民衆に必要なものであるから、出来れば街路以外に敷地を求めて、設けるのがほんとうであらうが、止むを得なければ、我慢してもいゝとも思はれる。公衆電話だとか交番だとかは主として四つ角の歩道の街角の處に置かれる様にしてゐるから歩行者には、夫れ程の支障はないが、車道を通るものゝ視距を妨げる。然し出来

るだけ其の面積を小さくしてあるから大體はさう邪魔にな

つてゐない様だ。



歩道上の地下鐵出入口(歩道の自轉車置場に於て)
（注意せしめられたり）

一般電柱は全く街路に必要なもので、あれ程邪魔になるものもないし又、我が物顔に占用してゐるものもない。全く都市の美觀問題から云つても一番の困り物だ。東京の建物もこの頃ほんとうに美しくなつたけれども、其の前の電柱を見ると全くうんざりする。おいしい御馳走にとまつた蠅みたいなものだ。實際此の頃は街路を擴張する時に其の占用物のあることを豫想して街路の幅を決定してある様な風がある。占用させるために豫め其の用地を廣く買つ

てゐると云ふ様な事程馬鹿らしいものはない。

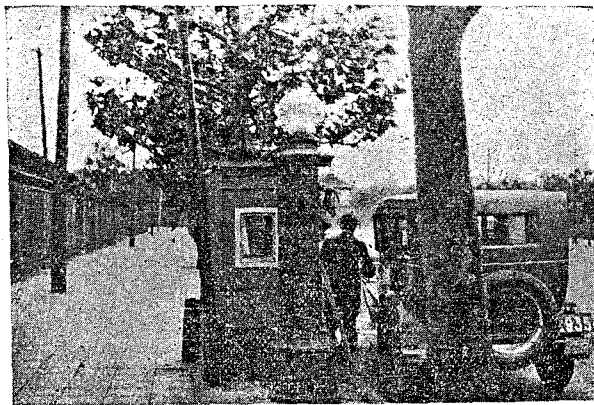
地下鐵道の入り口は、地下鐵道に路面下を占用すること

を許す以上或る程度には許されなければならぬものであらう。然しこれは相當に大きい面積を占めるものであるから、餘程廣い歩道の處でないとは造られ

ない。理想的に云へば矢張り街路敷以外に設けるのがほんとうであるだらうが、一般交通のためではあるし、我慢の出来る餘地があれば、造るのも方法である。東京では、歩道を其の幅の三分一以上を狭めないで然かも残りの幅が三・六米以上ある處にのみ許されてゐる様だ。東京の他で地下鐵道のある京都でも、大阪でも、神戸でも歩道には造らない様になつてゐると思ふ。

次はガソリンのスタンドである。何んでも東京には現在一四ヶ所程あると聞いた。東京市と警視廳とが協議の上で大正十三年かに許したものだ。其の占用を許可した箇處

を見ると割合に、歩道交通には支障の少ない様な處の様だが、之れだけは、私は占用させなければならぬと云ふ理由を見出すことは出来ない。個人の



歩道上のガソリンスタンド

由を見出すことは出来ない。個人の營業用の家屋を歩道に許した様なものだ。何處か他の都市でも同じ様な占用願が出てゐるとも聞いたが之れだけは許さない方がいゝと思ふ。

其の後東京でも千個所を超へて占用の願が出て居るとも聞いた。甚だしい處には一つの個所に二三十件も共願があるとの事だ。そして既許可のものも権利がついて其の権利の賣買に二三千圓から一萬圓の取引きがされてゐると云ふのだから驚いたものである。

水道の共同栓は近來は殆んどなくなつた。掲示板も減多にない。然し此の様なものとは適當の

を見出して移させた方がいい。

廣告用の塔だの柱だのは随分澤山ある。一時的のものであるが、あれもどうかと思ふ。街として賑はかになつていゝかも知れないが。其の他家から出してゐる自轉車の數も著しいものだ。牛乳屋の車其の他車を以つて仕事する家の車なども皆歩道に置かれてゐる。

實際歩道とは云ふものゝ、ひどい處では、歩道は道路に必要なものに占用させる場所で、人は其の間を縫ふて通させて貰つてゐるとでも云ひたい様な處が多い。

木 橋

この間土木局長の處で、ある箇所にて延長三、三〇〇間位の橋梁を架ける話が出た。縣の見積りでは、取付道路の費用も入つては居るのだが、其の費用が百萬圓とあり、河川改修工事に於て負擔しなければならぬとして用意してゐるものが、木橋の見積りで八萬圓あると云ふ話が出た。其の時に局長が、鋼橋にして百萬圓、木橋にして八萬圓とい

ふのなら、百萬圓の利子を八分とすれば年額八萬圓である。夫れでは毎年木橋を架換出來るでないか。その様なことがあるものかと云はれた。

私は局長の前なので思考力を失ふ程あがつてしまつて居たのだらうか。ふつとそんな考へ方も出て來るかなと思はれて、普段自分の考へて居ることも口に出すことも出來なかつた。技術者として十年もそんなことばかりやつてゐるのに局長の前を臆して夫れが云へなかつたことはどう考へても恥しくて仕方がない。

馬鹿のおそ智慧と云はれるかも知れないが私として木橋を架けることの不經濟であると云ふ考へを此處で述べて見たい。

現在の物價でなら特別のものを除いて、鋼構橋は面坪四〇〇圓乃至三〇〇圓で出來る。鋼鈹橋なら三〇〇圓乃至二〇〇圓で出來る。鐵筋混凝土桁橋なら面坪二〇〇圓乃至一二〇圓で出來る。木橋でも一六〇圓乃至一〇〇圓を要する。鋼構橋にするか鋼鈹桁橋にするか、鐵筋混凝土桁橋にする

かは、其の位置架橋に依るのである。鋼樑橋にしなければならぬ様な處に木橋を架けるとすれば、どうしても一六〇圓以上はかゝらう。だから鋼樑橋にして四〇〇圓、木橋にすれば一六〇圓位かゝるとすれば、四〇〇圓の八分の利子とすれば三二圓であるから五年間の利子である。公債の利子などは五分になつてゐるから八年になる。又木橋の場合だつて公債に依るとしなければならぬから其の利子もあるし、木橋が二、三年或は五、六年も経てば年々相當の維持費を要する。萬代橋の如きは一年二萬圓もかかつた。神奈川では六郷橋、馬入橋、酒匂橋が鐵橋になつて年額三萬圓近くの維持費がいなくなつたと云はれる程だ。又時々洪水に依つて流失するし、甚だしいのは竣功した次の年に流されたりする。斯く考へて見ても木橋にするよりも相當經濟の場合があることが解る。又立派な橋梁になつて居ると云ふことは夫れ自身で氣持がよい、同じ金で出来るとすれば立派なもの程よい筈だ。

局長の處で話の出た橋梁は私の見積りでは延長三、三〇

〇圓幅員四間として、鋼橋でなら大體五拾五萬圓木橋では二拾萬圓である。縣での百萬圓と云つたのは、相當長い取付道路も完全に築造した上でのことである。然かも相當物價の高い以前の見積りなのであり、又河川改修工事で負擔し様と用意してゐる金は、道路法で規定した全額でなく河川法の規定に依る一部の工費である。實際その河川改修の豫算も相當辛いので、橋梁費の全工費を出せば河川工事の一部を竣功させることが出来なくなるから河川の方としても竭むを組まないであらう。だが住宅でも坪當り四、五拾圓から一千圓位、或は夫れ以上其の構造に依つては如何様にでも出来る様に木橋でも八萬圓で出来ないとは云ふことはない。私の云つてゐるのは、道路法に規定されてゐる規格に適合せしめ得る最小限度のもので述べてゐるのである。

鋼橋に於てもペンキの塗換へ等の手入れ等をしなければ壽命も相當短いし、又交通狀勢が變はつて幅員が不足したり、耐力が足りなくなつて其の効用を滿し得ない様な場合があるから其の壽命は三、四拾年位しか考へられないこと

もある。尤も其の様な處では、木橋では用にならなげな處が多いのだから問題にはならない。

國道筋では木橋で間に合ふ様な處は餘りないのであるが其の他の道路のうちには例へば交通が閑散で、洪水等によつて流失の虞れない様な處ならば木橋でもいゝ。だが其の架橋位置によつては、鐵筋混凝土桁橋などで材料の關係から木橋の費用と同じ位で出来ることもあるのだから、何を選ぶかは其の場合によつて研究しなければならぬ。

次に木橋では絶対にいけないと云ふ場所もある。之れは敢へて云はなくても解り切つた事であるけれども、例へば市街の大橋梁の如きものである。東京隅田川の橋梁の如きを木橋にするが如きは、交通の安易から云つて絶対に出来ないことだらう。然し考へ様に依つては、現在架けられてゐるものも少し經濟的のものにしても用は足りたであらうと思はれるものがないでもない。

東海道と山田英太郎氏

昭和七年五月十四日午前九時東京驛發越特急燕號は澤山の見送人に守られて其の發車を待つてゐる。黒無地の着物に五泉平の袴をつけられた山田英太郎氏が黒紋付の着物を着られた夫人と共に豫め造られた席に付かれる。山田氏は純白の口鬚と三分刈の白髪を持たれた古武士風の紳士である。

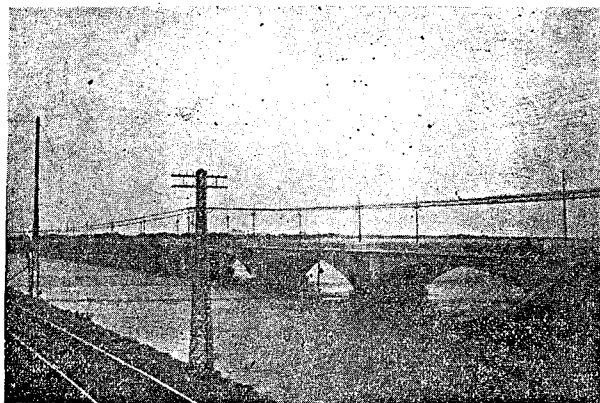
道路改良會の理事で會計の方の主任をして居られて、とても綿密に其の監督をせられて居ると云ふ噂は兼ねて聞いてゐたが、其の風貌に接したのは初めてである。私は熱々この人が會計理事をせられてゐるならば本會の基礎は磐石であると思つた。

山田英太郎氏は水野鍊太郎氏等と共に道路改良會の創立者の一員であり、現在は岩倉鐵道學校の校長をせられてゐる。又元の日本鐵道會社の社長もせられて居たとか。吾が國交通界の殊勳者である。

このお年をとられた御夫婦に接して居ると實際清らかな美しさを感じる。完成した御夫婦だと感ずる。山田氏は東

京驛から濱名湖を過ぐる頃まで、泰然として統計の多い『東京市之立體的考察』の内容を書いたパンフレットを朱鉛筆でしるしをつけながらずつと黙讀して居られた。其の他『時局論』や何かのパンフレットを五六冊持つて居られた。永い汽車に乗つて、あの立派な態度は、吾々の到底なし得ざる處で大いに敬意を表するものである。

京濱國道が見える。改修出來てからもう十年になるが沿線は全部家が出來た。其の交通も頻繁なものだ。あの夥たらしい自動車交通は實際豫想されなかつた程である。六郷橋も大分錆びた。之れももう塗り換へなければなるまい。横濱市内の中樞地の國道は復興計畫で立派に出來てゐる。保土谷から郡



(第一號橋) 濱名湖橋梁

に菖蒲の生えた蘆屋の人家とが舊東海道の宿場の美しい景色を見せてゐる。

横濱市郡界から戸塚迄の間は昭和六年度の直轄工事として施工せられたが、舗装がないので、自動車はひどい砂塵を卷揚げながら走つてゐた。

盛土の部分の法面が雨水で相當浸かされてゐる様だつた。戸塚町は震害復舊で擴張したのを今度混凝土で舗装せられてゐるが、丁度町の中で省線東海道本線が、平面を又交してゐる。東海道本線の様に頻繁に列車が通り又燕號の様な超特急の通るものとこの町中で平面交叉をしてゐると云ふ様なことは、恐ろしい様な氣がする。どうしたつて之れは高低交叉

市界までは未改修で汽車の窓から見ると松の並木と、屋根に改築されなければならぬ。

花水橋、馬入橋、酒勾橋を見て燕は走る。山田氏夫妻は

國府津で得られた小鱈のお鮓を富士川

橋を見ながら食べられる。清水静岡間

の十二間幅の國道も改修が出来て並木

と共に美しく見える。静岡市はせつせ

と都市計畫で街路の改修をやつてゐ

る。六大都市以外で都市計畫を實行し

てゐる處は、仙臺市と此處位のものだ。

仙臺市は此の頃割合にやつてゐないが

静岡市はどうして、とても勢よくやつ

てゐる。今に國道に相當する路線も立

派に出来るであらう。

沿線美しく見える松並木と、富士山

とは、東海道本線を通る者の慰安であ

る。山田氏は静岡驛を出た頃津市で開

かれる港灣協會の總會に列席する水野會長と車内で『やあ

何處へ』とお互に挨拶された。

静岡市を出はされると安倍川橋がある。之れは東海道中

道路法に依つて補助を受けて架設せられたものの最初のも

のだ。大井川橋も見える。天龍川橋

は下部構造は竣工してゐて上部構造

の鑄材が堤防の上に置いてあつた。

もう直き組立が初まるだらう。

濱名湖橋梁も永い間工事中だつた

が之れも辨天島までとうと運ながつ

た。未だ盛に工事をしてゐるがもう

直き竣工するだらう。此處で山田氏

は夫人の注意で初めて讀書から顔を

擧げて辨天島及び濱名湖橋の架橋工

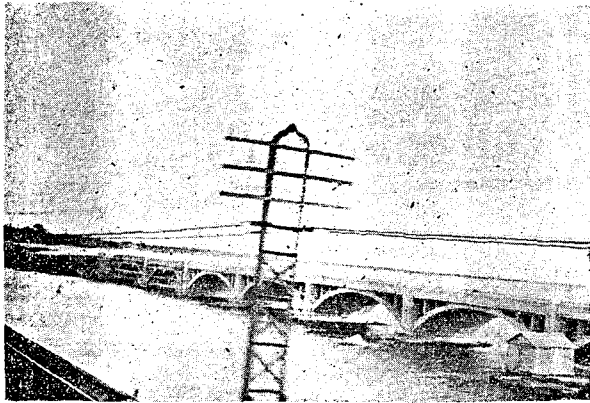
事を望められた。暫く夫人と御油あ

たりの美しい海岸を指し蒲郡の宿屋

の話などをせられてゐる様だつた。

静岡縣界から、豊橋市を経て岡崎

市に至る國道の松並木は美しいものだが、汽車の窓から見



(橋號二第) 梁橋湖名濱

ると何んと澤山に枯れてゐることだらう。ちよつと數へただけでも坊主になつてしまつた様な並木が二十本の餘もあつた。何故にあゝ枯れたまゝ放置するのか解らない。東海道の松並木も次第に枯れる時期になつて來たのか知らとも思はれた。こう頻繁な自動車交通になつて來ては實際並木の維持も容易でなくなつた。

名古屋驛で水野會長も山田氏も下車せられた。會長は公式の旅行であるだけに出迎への人も多かつた。

名古屋から汽車は東海道と別れる。大阪驛へ來ると省線は高架の工事をしてゐた。神戸市内も永い間高架の工事をしてゐたが、今度來て見ると列車は其の高架線上を走る。

汽車からの阪神國道も美しい。路幅が廣いので車線が、電車、高速度、低速度と判然と區轄されてゐるのが見える。

滿洲國

滿洲に於ける戦況に就て、毎日出てゐる新聞記事を見て、私には滿洲のどの邊で、どの様な戦をしてゐるものや

ら、滿洲を知らない私には、何か判然としないものがあつた。又地圖を見ただけでも矢張り感んじがうつらない。

又少しでも滿洲を知らうと色々と滿洲に關するものを読んでも見たのであるが、幾ら讀んでも判つきりしなかつた。滿洲は面積百八拾萬平方米もある廣い處だと聞いても其の各論を讀んでゐると何か其の様に思へない。

滿洲經濟の基は農産物である。廣漠たる大平原は概して肥沃なる農業地であると讀んでも内地の平野しか知らない。私にはどんなものか判らない。鑛業に關んしては相當以前から聞いてゐた處であるが夫れでも數字を讀んだだけでは、どれだけのものがどんな埋藏されてゐるものか、どれ程採掘されてゐるものか、又工業に於ても搾油だ製麻だ製絲だといふても何處でやつてゐるのか見當がつかない。讀んでも何か紙一枚置いて讀んでる様な氣だつた。

處で今度東西經濟調査局編纂の「滿蒙政治經濟提要」のうち短いものだが道路交通の處を讀んだ時に初めて滿洲が夜があけた様に判つきりした様な氣がした。私は常に道

路を透ふして世の中を見る様な習慣になつてゐるからだろうか。今夫れを引用して見る。

「滿洲に於ける道路は極めて劣悪である。道路の多くは沖積平地を通じ、路傍の兩側は高く中央は低く恰も河川底を通ずるが如く、深い處は數十尺に及ぶものがある。故に夏期降雨期に際しては、泥濘車軸を没する有様である。一つ

に道路行政に意を用ひないが故の當然の結果に他ならぬ。而しながら、滿洲に於ける道路交通の歴史を見るに、時の爲政者にして、道路の開設、國內各地の連絡に意を注いだことは決して尠少ではなかつた。かの官馬大路の如き首都と各省城との連絡、更に大路と稱して驛站を設け、各省城を中心として四方に大路を放射し、各省城間或は官路を連ねて重要な交通路を建設した。而も滿洲の政治史は交通の中心たる首都の屢々なる移動變更を餘儀なくした結果交通系統は屢く變動した。交通系統の屢々なる變動が、道路行政の達成を不充分或は不可能ならしめることは謂ふまでもない。更にこの道路行政は軍用路の開設修理を最緊

要とした戦馬の時代も濟んで、清朝も漸く三百年の平和に慣れて政務の廢頽を來すに至つて、毫も顧みられず道路の保全修理は地方官憲の手に委ねられて而も地方官は之れを意とせず、止むを得ざるに至るや、地方住民の私費を以て修繕をなさしめるに過ぎずして今日に及んだのである。

(中略)

滿洲の交通の尤も頻繁なる時期は冬期である。冬期結氷期に入れば、濕地、沼澤、河川等悉く結氷し、劣悪なる道路も坦々砥の如き結氷道路と化し、加ふるに農産物の搬送期に當り、この時期を利用して、自動車の運行すら極めて容易である。結氷道路は誠に巧みなる天の配劑であると云はねばならない。而も夏期に入れば降雨のため道路は破壊され、自動車は勿論、車馬の運行すら極めて難澁となる。滿洲の道路を改修して四季完全なるものとすことは、極めて重要である。堅實なる道路行政の確立は滿洲今日の問題である。(下略)